

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

炎症性皮膚疾患におけるオステオポンチンのバイオマーカーとしての有用性の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月～2021年7月までに、昭和大学病院・附属東病院で薬剤性過敏症症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、多形紅斑、そのほかの薬疹、水疱性類天疱瘡について他の研究に参加され血清を提供された方、上記期間に昭和大学病院・附属東病院で薬剤性過敏症症候群のために皮膚生検を受けた方です。

### 2. 研究目的・方法

皮膚アレルギー・免疫疾患におけるオステオポンチンの臨床的意義、バイオマーカー（指標となる血液検査）としての可能性に関する詳細な報告はありません。本研究ではこの点を明らかにする目的で網羅的に皮膚アレルギー・免疫疾患の血清オステオポンチンを測定するとともに、薬疹（重症薬疹を含む）と高齢者に発症しやすい自己免疫疾患である水疱性類天疱瘡に焦点を当て、病態、病勢、治療効果などを評価するバイオマーカーとなりうるかについて検討いたします。

薬剤性過敏症症候群患者さんの皮膚生検検体の免疫染色標本（CD3、CD4、CD8、CD14、CD68、OPN）、蛍光抗体二重染色標本を作成し、オステオポンチンがどの細胞由来のものか検討します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究期間の長による研究実施許可を得てから2022年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料として

- ① 研究の対象に記載した患者さんから提供された保存血液（新たな検体の採取はありません）
- ② 研究の対象に記載した患者さんの生検皮膚組織の残り（新たな検体の採取はありません）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご

了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院(医学部 皮膚科学講座) 氏名：末木博彦(研究責任者) 越川佐知子

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8556

研究責任者：昭和大学病院(医学部 皮膚科学講座) 氏名：末木博彦